



実りの秋 指導主事訪問に向けて授業研究スタート

祝 菅原浩一先生！ 教育公務員弘済会教育実践研究論文 優秀賞受賞！

11月11日（金）気持ちのよい秋晴れの1日となりました。今日は就学時健康診断。全校3校時限で、教育委員会の4名の職員の皆さんと一緒に準備や対応を行いました（写真はALTのマーク先生の昇降口での検温の様子です）。

学校周辺の紅葉も今が見頃となりました。10日（木）、いつもお世話になっている地域コーディネーターの皆様に来校していただき、5年生が脱穀の体験学習を行いました。5月から育てた稲が立派に育ち、例年以上の収穫となりました。5年生の皆さんは、この体験を通して、お米に感謝する気持ちを一層もったことと思います。



校内では12月5日（月）に行われる指導主事訪問に向けて、同学年での事前授業が開始されました。10日（木）は1年生の池山先生、11日（金）は3年生の後藤先生の学級での事前授業です。教科はお二人とも今年度から校内研究で取り組んでいる算数。池山先生、後藤先生共に子どもを惹きつける手腕が見事で、小学校のお手本のような授業の進め方でした。特に印象的だったのは子どもを褒めること、小さなことでも見逃さず、一人一人の発言や考えを取り上げて褒める様子に感心しました。子どもを褒める、ということはとても効果的で、1年生でも3年生も褒められた児童がその後一層授業に集中していく様子がよく分かりました。



さて、11月4日、今年の第51回 教育公務員弘済会教育実践研究論文助成金の受賞者が発表され、本校の菅原浩一先生（右下写真。就学時健診での様子）の「小さな世界に興味関心をもつ子供たちを育てる一試み」が優秀賞を受賞されました。浩一先生は昨年度、優良賞を受賞されていますので、2年連続での快挙となりました。浩一先生の教材研究に取り組む姿勢には本当に頭が下がります。再任用2年目の浩一先生。悲願の最優秀賞は来年に持ち越されましたが、その情熱が尽きない限りいつまでもお元気で御活躍願います。

（文責：手代木）